

研修旅行に感動と学びを

おきなわ世界塾



世界中をキラリと輝く人財 = 世界人-せかいびと- 育てまおう！

研修旅行の教育的効果を上げるために、アクティブラーニングを取り入れたプログラムを実施します。
特に、国際協力・国際理解・平和・環境・グローバル人財等のテーマについて、
沖縄ならではの深い学びを求める学校様へおすすめしております。



公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所

おきなわ世界塾はグローバル社会に必要なコミュニケーションスキルを鍛えるために、青年海外協力隊OB・OGなどの国際協力経験者による講義や実践を効果的に組み合わせる実施するプログラムで、参加者自身が“自己成長感”や“自己肯定感”の向上を感じることができます。



より学び多い研修旅行にしたい！

団体・組織でのコミュニケーションを向上させたい！

国際的な人間力を
高めたい！
というニーズ



おきなわ世界塾



コミュニケーション能力高き
世界人一せかいびとへ！

おきなわ世界塾で伸びる「5つのスキル」

対話力

- ・信頼関係構築
- ・自己表現

適応力

- ・異文化適応
- ・異文化理解 & 自己理解



課題解決力

- ・合意形成
- ・マネジメント

ネットワーク構築力

- ・関係づくり
- ・Win-Win

世界の情報力

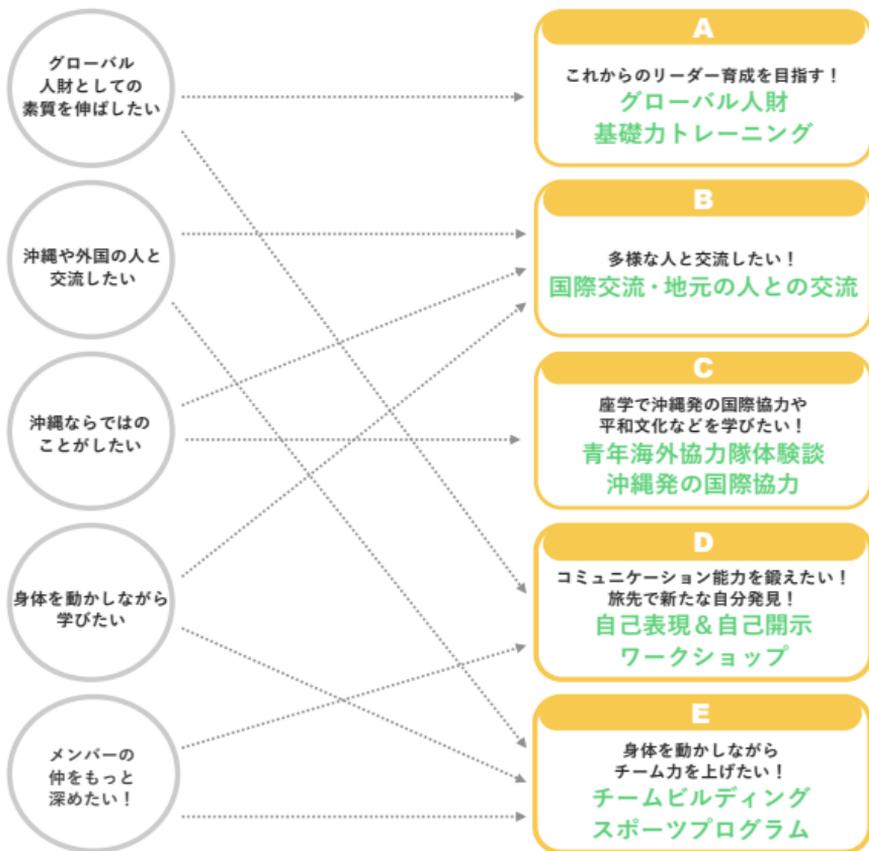
- ・世界の現状
- ・国際協力の意義

団体紹介

青年海外協力協会 (Japan Overseas Cooperative Association; JOCA) は、開発途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かし活動してきた「青年海外協力隊」の帰国隊員を中心に組織されている、内閣府認定の公益社団法人です。青年海外協力隊で培った精神とその経験を広く地域社会に還元し、グローバル人材育成に貢献しています。

一目で
わかる！

研修旅行タイプ一覧



実績で見る
JOCA 沖縄

おきなわ世界塾

これまでの受講者（2015～2017）

のべ **1,148** 名

研修旅行等 県外・海外団体受入

お茶の水女子大学附属高等学校
学校法人広島城北学園 広島城北高等学校
学校法人静岡理工科大学 星陵中学校
シンガポールハンドボール男女代表チーム 等多数

国際協力出前講座等 実施校（参加者）2017 年度

125 校 **11,397** 名

6 時間コース / 4,000 円 / 名

タイプ

A グローバル人材基礎力トレーニング

国境を越えて貢献する次世代のリーダーを育成。
国際理解ワークショップを通じて、
異文化適応能力や課題解決能力などを鍛えます。

プログラム例

AM

- 【アイスブレイク】
- 【フィールドワーク】おもしろまち 愛着ウォーク

PM

- 【講義】沖縄発の国際協力
- 【ディスカッション】世界共通の信頼関係づくり
- 【発表】グループ別企画発表
- 【コンサートステージ】清ら地球の詩（4 ページ参照）
- 【まとめ、振り返り】

身の回りの外国製品から
世界とのつながりを見つけ、
自分たちができることを考える



愛着ウォークとは？

ウォークラリーのような
ゲーム感覚で地域を歩きなが
ら、自分の目 (Eye) で見
て五感をフル活用して沖縄
の魅力や課題を発見しま
す。その中でテレビやネッ
トでは調べられない、本当
の沖縄を知ってもらい、「愛
着」を持ってもらうプログラ
ムです。



タイプ

B 国際交流・地元の人との交流

同世代の沖縄県民や在住外国人と一緒に、独自のフィールドワークや
ディスカッションなどの交流を通じて、互いの価値観をぶつけ合い、
研修旅行の忘れられない思い出を作ります。

プログラム例

AM

- 【アイスブレイク】
- 【フィールドワーク】浦添城跡 愛着ウォーク

PM

- 【講義】あなたと世界のつながりについて
- 【ディスカッション】平和を風化させないためには？
- 【発表】グループ別企画発表
- 【交流アクティビティ】
- 【まとめ、振り返り】

戦争を風化させないために
私たちができることは？



愛着ウォークで
外国人の方にインタビュー



1日の
成長ステップ

START

1. フィールドワーク
(愛着ウォーク)

2. 講義

タイプ

C 青年海外協力隊体験談・沖縄発の国際協力

沖縄特有の歴史・気候から育まれてきた経験・技術が、開発途上国で必要とされています。その実践者から体験談を聞いたり、沖縄独自の国際協力事例について学びます。



タイプ

D 自己表現・自己開示ワークショップ

日本人の大半が苦手とする自己表現や自己開示の能力を、講義&演劇手法ワークショップなどを通じて伸ばします。旅先で、仲間やチームメイトと更に絆を深めます。



タイプ

E チームビルディング・スポーツプログラム

クラブ活動（学級）や職場など、様々なチームで行うアクティビティを通じて、互いの意見を言い合える信頼関係を作り、「最強のチーム」作りを目指すと共に、個人の自己肯定感を高めます。



オーダーメイド・プログラム

30種類以上の講義&ワークショップ（5ページ参照）から、ご要望に合わせたプログラムを提案いたします。まずは半日プログラムの実施をご検討ください。

（例）沖縄から世界を“見て”、“聴く”「清ら地球の詩」バンド
青年海外協力隊員が現地でも撮った写真映像と共に、県内プロアーテイスが生演奏を行うエンターテインメント性の高いプログラムにより、楽しみながら世界について考えるきっかけを作ります。



適応力
ネットワーク構築力



対話力
課題解決力



3. 国際理解
ワークショップ

4. ディスカッション

世界中でキラリと輝く人材
= 世界人-せかいびと-へ



学習定着率を表すラーニングピラミッド

National Training Laboratories.より



アメリカ国立訓練研究所
が発表した、各活動にお
ける学習定着率を表した
もの。上段になるほど、
教育効果が高く、主体
的・能動的な活動となっ
ていく。

おきなわ世界塾では
学びの効果が高い3つの
組み合わせを重視しています

加えてここがポイント

- ✓沖縄県民（同世代・外国人等）との交流もできる！
 - ✓全プログラムにアクティブラーニング手法導入！
 - ✓自己成長感・自己肯定感の向上を実感できる！
- =大学入試改革で問われる資質を伸ばします。

プログラム一覧

所要時間
(分)



対話力

“おきなわ チームビルディング”

90

小グループで複数のアクティビティに
挑戦していくことで、「グループ」から「チ
ーム」に成長していく体験をする。チーム
の中の自分の役割を発見する。

“自己表現ワークショップ”

60

人前で表現することは勇気のいること
であるが、「失敗」を恐れず、相手を受
け入れることで、恐怖心を克服し人間
力、コミュニケーション能力を高める。

信頼関係構築

自己表現

“伝え上手になる！聴き上手になる！「世界共通のコミュニケーション術”

90

相手との信頼関係をつくるためのコミュニケーション術。「コーチング手法」を
取り入れながら、効果的な質問・承認・傾聴など、相手の能力を引き出すスキルを
身に付けるほか、アクティブラーニングを通して表現力を高める。



適応力

“青年海外協力隊の 異文化コミュニケーション”

120

途上国での実際の活動事例を基にした
協力隊独特の異文化コミュニケーション
を体験。ストレスの原因になっているも
のは何か。ノンバーバル（非言語）メッ
セージの重要性を知る。

“沖縄版 BafaBafa ゲーム”

120

異文化体験シミュレーション。文化
(ルール)の違う二つの国(例:宮古国・
名護国)を設定し、その異文化に触れる
機会を通じて、自分かどのように感じ、
行動するかを体験する。

異文化適応

異文化理解& 自文化理解



課題 解決力

合意形成

マネジメント

“青年海外協力隊ロールプレイ” 60

途上国での2年間の活動事例集から、様々な課題解決の事例を学ぶ。1つの事例について役割を設定し、ロールプレイ形式で実践する。主なテーマはコミュニティ開発、保健師、青少年活動等。

“10年後の自分を描く！ 目標&アクションプランづくり” 90

青年海外協力隊の派遣前訓練で習得する、「目標設定」「活動管理」のスキルを学ぶ。10年後の自分の夢に向かってどのように行動を起こしていくか、その習慣づくりを行う。

“ダイヤモンド・ランキング” 90

テーマは自由選択。複数人のメンバーでいくつかの事柄に優先順位をつけることで考えを整理したり深めることが出来る。研修旅行の学びを振り返るのにも◎

“コンセンサスゲーム” 90

多様な意見が出てくる中、全員の合意（コンセンサス）を得る過程を体験する。ゲーム形式のプログラムを通して、コミュニケーション能力の向上と合意形成の重要性を学ぶ。



ネットワーク 構築力

関係づくり

Win-Win

“沖縄版ちがいのちがい” 60

グループでカードを使い、「あっていい違い」と「あってはならない違い」に分ける。その過程の中で、他人との価値観の違いに気づき、それを認め合う練習をする。（例）肌の色、方言

“場づくりとファシリテーション” 90

良い話し合いとは？参加者の考えやアイデアを引き出す“場づくり”の手法。ファシリテータースキルを学び、小グループで実践する。

“愛着ウォーク” 90

*3ページ タイプAを参照

“沖縄発の国際協力” 60

亜熱帯気候、島嶼性など、沖縄の特性を活かした国際協力は？東南アジアや大洋州に向けて提供する技術協力プロジェクトから、地域の特性を活かし国際社会に貢献する方法を学ぶ。

“沖縄移民の歴史” 60

地球には42万人とも言われる沖縄県系の人々（ウチナンチュ）が住んでいる。その移民（移住）史から、世界に広がるウチナーネットワークの可能性を学ぶ。



世界の 情報力

世界の現状

国際協力の意義

“スポーツと国際協力” 60

スポーツは国籍や言葉の壁を超え、人材育成や世界が抱える様々な問題を解決する一助となっている。スポーツを通して人間関係を作り、チームとして目標を達成する意義を学ぶ。

【国際理解ワークショップ】 60

- ・世界がもし100人の村だったら
- ・貿易ゲーム ほか多数

【エンターテイメント】

- ・清ら地球の詩 *4ページを参照

Q&A



費用は？

1日(6時間)コース/4,000円/名
半日(3時間)コース/2,500円/名

上記が基本料金となりますが、参加人数やプログラム内容によって対応するスタッフの人数も変わってきますので、その都度見積もりいたします。



日程は？

基本平日10時~17時までの実施ですが、休日や時間外なども対応可能です。その場合、最低3ヶ月前にはご予約ください。



受け入れ人数は？

最大250名~最小20名程度でご検討ください。人数が多い場合は、半分に分け、午前と午後に分けてプログラムを実施いたします。



会場は？

実施会場は、宿泊先ホテルもしくはJICA沖縄センター、県内の高校をはじめとする公共施設です。



食事は？

JICA沖縄センター内に、多国籍対応レストランがあります。50名以下の場合はこちらをご利用いただくことも可能です(700円/人 ランチプレート)。食事予約、50名以上の場合は、お弁当などで対応いたします。



所要時間は？

半日(3時間)と1日(6時間)の実施が可能です。学びの効果と、生徒さんの満足度を考えると1日(6時間)の実施をお勧めします。早ランチタイムを除く



交流相手は？

沖縄県内の中高・大学生や、青年海外協力隊OB・OG、県内在住の外国人が対象になります。



事前学習(準備物)は？

下記読書キーワードで、3つのネット学習をお勧めします。
①JICAボランティアとは？
②日本・途上国 相互依存度調査
③途上国と考える「国際貢献」入門
当日学校内で準備するものではありません。英文プログラムの場合は名札があると便利です。



講師は？

青年海外協力隊のOB・OGをはじめとする、国際理解教育ワークショップの実施経験が豊富な講師陣です。開発途上国での活動経験豊富なメンバーです。

お問い合わせ先

CONTACT

公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所 (JOCA 沖縄)
〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖1丁目1番21号 502号室
TEL : 098-943-7801 FAX : 098-943-7802
MAIL : joca-okinawa@joca.or.jp